

# 真校魅力だより その11

## 真室川校の伝統と誇りをつなぐ～キャリア学習・地域理解学習～

### ◆1年キャリア学習講座(インターンシップ報告会) (2月7日(月))

1年生を対象に、7月に予定されているインターンシップ(職場体験)の参考にするため、今年度のインターンシップの体験について2年生の代表5名から話を聞く報告会を開催しました。2年生からは、インターンシップで訪問した牧場や介護老人施設、保育所、鉄骨部材の製作加工会社などの事業所で学んだことや、将来の自分に役立てたいことなどを発表し、1年生へのアドバイスとして挨拶や傾聴、意欲を持って取り組むことの大切さを伝えていました。1年生は数か月後の体験に向け、メモを取るなどして2年生の話真剣に聞いていました。

最後に小野綾日さん(1年)が「先輩方の発表を、私たちのインターンシップの参考にして頑張りたい」と体験への意欲を述べました。



### ◆地域文化理解学習会(1月21日(金))

1～2年生を対象に、町移住定住推進員の梶村勢至さんを講師に迎えて「地域文化理解学習会」を開催しました。梶村さんは町が抱える問題として人口減少を挙げ、年齢別人口や未婚率の推移、町民の従業地等をグラフで示し、人口減少の中で少子高齢化が進み、町外で働く方の割合が増えている現状から、移住や定住の推進や豊かな森林資源を生かした産業づくり等による経済活性化が必要と話してくれました。

後半、梶村さんからメジャーリーガーの大谷翔平選手が高校1年生の時に書いたマンダラート(9つのマスを使った目標達成シートで思考の整理や拡大を図るもの)が紹介され、生徒たちは「自分が目指したいことや夢」を実現するために何に取り組んだら良いかを考えながらマンダラートに書き込んでいました。

1年の栗田聖さんは「こんなに人口が減っていたとは驚いた。住んでみたいと思う町にした」と町への思いを述べてくれました。



## ようこそ先輩!! vol.2

真室川校の卒業生は、様々な職業や進学をして多方面で幅広く活躍をしています。そんな先輩方の思いや後輩たちへのメッセージをお届けします。



佐川佳奈さん

(平成23年度 卒業生)

梅里苑「梅Cafe」勤務

### ～夢は叶う～

私は小学生の時からパティシエになりたいという夢を持っていました。真高に進学し、1年生の面談でその事を話したら、先生から製菓の専門学校を紹介され、卒業後その学校に進学しました。その後、菓子店の勤務を経て今の職場の立ち上げから参加して勤務しています。

お客さんから「おいしい」と言われるとうれしいし、励みになります。この仕事がとても楽しいです。このカフェがきっかけとなって沢山の方が真室川を訪れてほしいし、温泉など町の魅力を発信していきたいと思います。

後輩の皆さんには、やりたいと思うことには挑戦してほしい。高校生にしか出来ないことがあるから、何事も真剣に取り組んで学校生活を楽しんでほしいです。